

令和6年度香川大学公開講座

「防災士養成講座」受講生募集要項

さぬき市の推薦受講者を募集するために日程等について周知するものです。

1. 講座の主旨

防災に関する正しい知識と技能を持ち、災害時には自助、共助の中心として活躍できる防災士を養成する講座です。本講座を履修すると、NPO 法人日本防災士機構の防災士資格取得試験の受験資格を得ることができます。

2. 会場 香川大学創造工学部 講義棟3階 3301講義室

注)：都合により会場を変更することがあります。

期間中に外壁工事に伴う音が発生する場合がありますが、その旨ご理解下さい。

感染防止対策のため、咳が出る方は、必ずマスクのご着用をお願いします。

~~3. 定員 150名（先着順で定員に達し次第受け付けを終了します。）~~

~~※お申し込みは、防災士資格をお持ちでない方を優先させていただきます。~~

4. 受講料 10,000円

※受講料の他、「教本代金:4,000円、受験料:3,000円、認証料:5,000円」が別途必要です。

※受講料、その他の費用については、災害等特別の事情がない限り返金致しません。

※教本は、講習初日に受付でご購入願います。他者からの譲り受けや、フリマサイト等で入手された場合は受講できません。

~~5. 募集期間 令和6年9月4日（水）9：00～令和6年9月9日（月）17：00~~

6. 講座日程 下段「講座カリキュラム」のとおり

（受付）9：20～、（事務連絡）9：50～10：00、

（1時限）10：00～11：00、（2時限）11：10～12：10、

（3時限）13：00～14：00、（4時限）14：10～15：10、（5時限）15：20～16：20

【講座カリキュラム】（講師の都合によって講義の日時を変更することがあります。）

月日		NO	時限	講義内容	講師
第1回 10月5日 (土)	3301講義室	1	1	ガイダンス 防災士に期待される活動	香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 (以下、危機管理機構) 長谷川 修一 香川大学危機管理機構 三好 正明
		2	2	企業・団体の事業継続	香川大学危機管理機構 磯打 千雅子
		3	3	地震・津波のしくみと被害	香川大学危機管理機構 長谷川 修一
		4	4	風水害・土砂災害と対策	香川大学危機管理機構 長谷川 修一
		5	5	地域の防災活動	かがわ自主ぼう連絡協議会 会長 岩崎 正朔
第2回 10月12日 (土)	3301講義室	6	1	地震・津波への備え	香川大学危機管理機構 金田 義行
		7	2	避難所の設置と運営協力	香川大学危機管理機構 高橋 真里
		8	3	災害情報の活用と地域防災	香川県防災士会 久保 雅和
		9	4	災害ボランティア活動	香川県社会福祉協議会 矢野 翔也
		10	5	ライフライン・交通インフラの確保	香川大学危機管理機構 三好 正明

月日		No	時限	講 義 内 容	講 師
第 3 回 11月 2日 (土)	3 3 0 1 講 義 室	11	1	惨事ストレスと心のケア	香川カウンセリングセンター 所長 浅海 明子
		12	2	災害と保険	日本損害保険協会四国支部 藤田 昌弘
		13	3	風水害・土砂災害等への備え	香川大学創造工学部・危機管理機構 井面 仁志
		14	4	被害想定・ハザードマップ	香川大学創造工学部・危機管理機構 野々村 敦子
		15	5	クロスロード(演習)	香川大学創造工学部・危機管理機構 野々村 敦子
第 4 回 11月 23日 (土)	3 3 0 1 講 義 室	16	1	耐震診断と耐震補強	香川大学名誉教授 松島 学
		17	2	先人の教えに学ぶローテク防災術(演習)	香川大学危機管理機構 客員教授 (株)熊谷組四国支店)松尾 裕治
		18	3	近年の自然災害に学ぶ —災害現場からの教訓—	香川大学危機管理機構 客員教授 高嶋 博視
		19	4	行政の災害対応	香川県危機管理総局危機管理課 政策主幹(兼)副課長 安藤 賢治
		20	5	緊急救助技術を身につける	日本赤十字社香川県支部事業推進課課長 大林 武彦
第 5 回 11月 30日 (土)	3 3 0 1 講 義 室	21	1	気象災害と公的機関による予警報	香川大学教育学部・危機管理機構 寺尾 徹
		22	2	災害医療	香川大学医学部附属病院救命救急センター長・ 危機管理機構 黒田 泰弘
		23	3	地域防災と多様性への配慮	香川大学名誉教授 白木 渡
			4	修了式	香川大学危機管理機構 長谷川 修一 香川大学危機管理機構 三好 正明
			5	防災士試験	NPO 法人日本防災士機構
【予備日】		台風などにより、休講となった場合、その日の講義の代替日とします。 —特別警報及び気象警報の発表等における休講措置の基準— 1. 対象となる警報の種類：大雨、洪水、暴風又は大雪警報のいずれか 2. 午前6時30分に上記の警報が高松市に発表されている場合、その日の講座は中止とし、予備日に延期させていただきます。 3. 居住地の気象状況又は交通機関の運休等により、出席できない場合は、無理をせず、欠席のご連絡をお願いします。 なお、休講の措置については、ホームページに掲載いたします。 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 https://www.kagawa-u.ac.jp/iecms/			
1~4回目のいずれか1日が休講になった場合は、11/30(土)を代替日とし、5回目が12/14(土)となります。					

【お願い】 防災士の登録には、「救急救命講習」の修了書のコピーが必要ですので、居住地の消防機関などによる講習を必ず受講してください。

注1：普通救命講習の受講者は、事前に応急手当 Web 講習（e-ラーニング）を受講すると、座学1時間を省略することができます。

応急手当 Web 講習→ <https://www.fdma.go.jp/relocation/kyukyukikaku/oukyu/index.html>

注2：既に地域の消防署、日本赤十字社各支部等で講習を受講されている方については、取得後5年以内に発行されたものであって、かつ、その講習の発行者が定めた有効期限内のものは、認証要件として認められます。詳しくは、事務局までお問い合わせください。